



2023年5月15日

各位

会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒川 隆治
(コード番号2784 東証プライム)
問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 羽野 和明
(TEL:03-5219-5102)

「アルフレッサグループ中長期ビジョン」策定のお知らせ

当社は、2023年5月15日開催の取締役会において、アルフレッサグループの更なる企業価値向上を実現すべく、2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、中長期ビジョンの詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

記

1. 「アルフレッサグループ中長期ビジョン」策定の背景と目的

アルフレッサグループの更なる企業価値向上に向け、3年間の22-24中期経営計画の先、2032年度までの方向性を中長期ビジョンの中で、事業戦略および財務・資本戦略として策定いたしました。

2. 「アルフレッサグループ中長期ビジョン」の概要

(1) 中長期(2032年度まで)に目指す主な目標

売上高	:4兆円
営業利益	:700億円以上
ROE	:8%以上

(2) 事業戦略(トータルサプライチェーンサービスの強化・拡大)

医療用医薬品等卸売事業の強みであるお取引先との強固な信頼関係、高機能な物流インフラ、豊富な人的資本を価値創造の源泉として、事業戦略を構築・遂行し、基盤事業の強化、成長事業の育成および新規事業の開発を通じて事業ポートフォリオの拡大と変革を行い、経済的価値である利益拡大を目指すとともに、健康・医療分野の様々なステークホルダーへ向けた社会的価値の創出に繋げてまいります。

(3) 財務・資本戦略

資本効率と安全性を両立した中長期的な最適資本構成に向けてB/Sコントロールを実施します。

また、株主還元としてDOEの段階的な向上を目指すとともに、自己株式取得を機動的に実施することで、8%以上のROEを目指します。

以上

アルフレッサグループ中長期ビジョン

2023年5月15日

アルフレッサ ホールディングス株式会社

「アルフレッサグループ中長期ビジョン」全体像

ヘルスケアコンソーシアム®の実現追求と B/S コントロールによる資本効率の改善によって
中長期的に企業価値を向上

中長期(2032年度まで)に目指す主な目標

売上高	4兆円
営業利益	700億円以上
ROE	8%以上

事業戦略

◆基盤事業の収益性強化および成長事業・新規事業の収益拡大による利益成長

1. 基盤事業：仕入先・販売先から選ばれるリーディングカンパニー卸
2. 成長事業：メディカル品(医療機器・診断薬・栄養食品等)
セルフメディケーション卸売事業におけるセルフプリベンション(SP)商品
製造事業における受託事業拡大・新規開発医薬品
3. 新規事業：再生医療等製品関連事業
デジタルツール活用によるつなぐ活動
医療周辺ビジネスへ

財務・資本戦略

◆DOE2.4%以上(22-24中計期間)、以後も段階的に向上 ◆自己株式取得350億円(2023年度)、以後も機動的に実施

1. 資本効率(ROE)と社会インフラ企業としての安定した財務基盤の両立を目指し、中長期的な最適資本構成を設定
(自己資本比率30%台前半から半ばを目標)
2. 企業価値の持続的向上の為の継続投資、最適資本構成、安定的な株主還元の一體的検討による最適なキャッシュ・アロケーション
3. 持続的・安定的な配当水準の向上を重視しDOEを段階的に向上
最適資本構成を見据え機動的に自己株式取得を実施

非財務(ESG)戦略

【環境】CO2排出削減・効率化推進

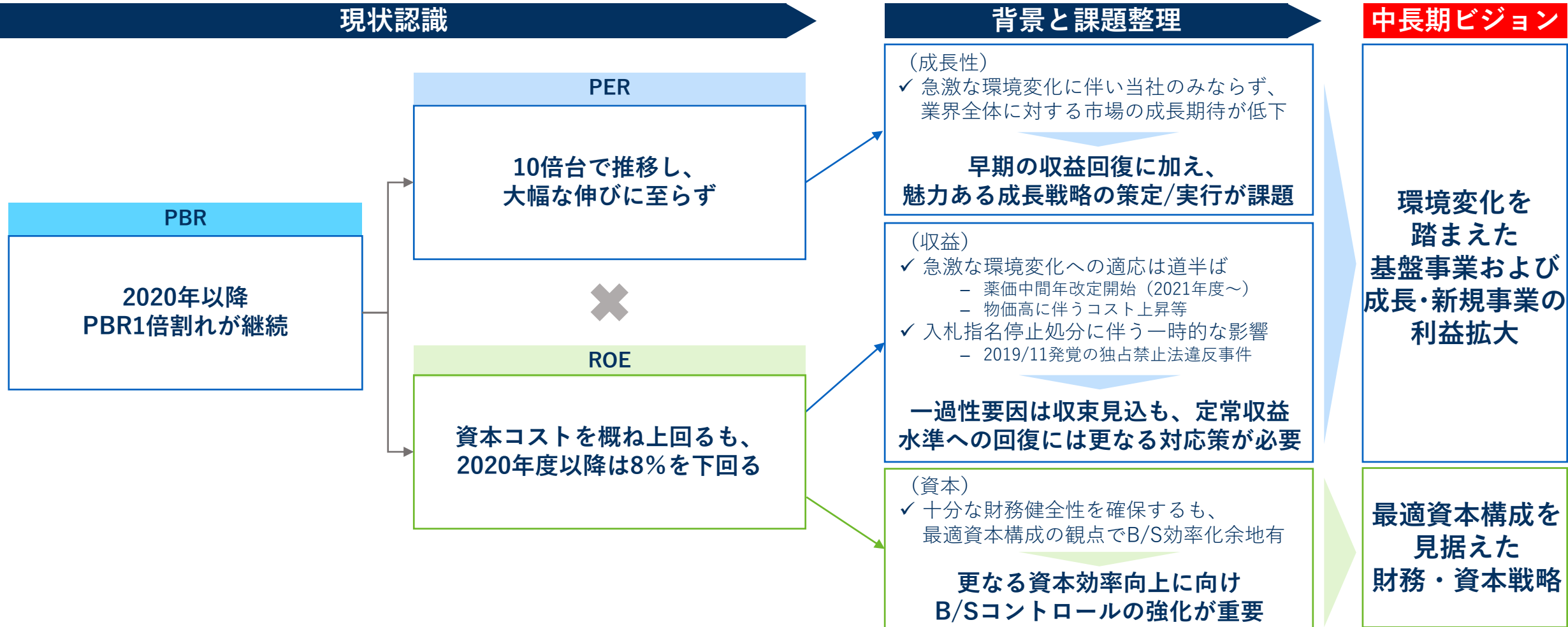
【社会】人的資本への積極的投資

【ガバナンス】コンプライアンス遵守の徹底

「アルフレッサグループ中長期ビジョン」策定の背景

当社株価が2020年以降PBR 1倍割れで推移していることを課題と捉え、現状認識を整理した上で市場評価向上のための対応として、中長期的な企業価値向上に向けた施策の方向性を「中長期ビジョン」として策定

現状認識



「アルフレッサグループ中長期ビジョン」の位置づけ

企業理念

私たちの思い：すべての人に、いきいきとした生活を創造しお届けします

私たちの目指す姿：健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム®をめざします

私たちの約束：7つの約束と「安心」「安全」「誠実」

サステナビリティ基本方針

すべての人に、いきいきとした生活を創造しお届けします

「すべての人がいきいきとした生活」を送るためには、持続可能な社会の実現が重要であると考えています。私たちアルフレッサグループ理念体系に整合した事業活動を通じて社会・環境課題の解決に取り組み、全ての人々が健康に暮らせる社会の発展に貢献し、持続的な企業価値の向上を図ります。

なりたい姿 (長期目標)

中長期ビジョン

健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム®の実現追求

ヘルスケアコンソーシアム®の実現追求とB/Sコントロールによる資本効率の改善によって中長期的に企業価値を向上

中期経営計画

22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～

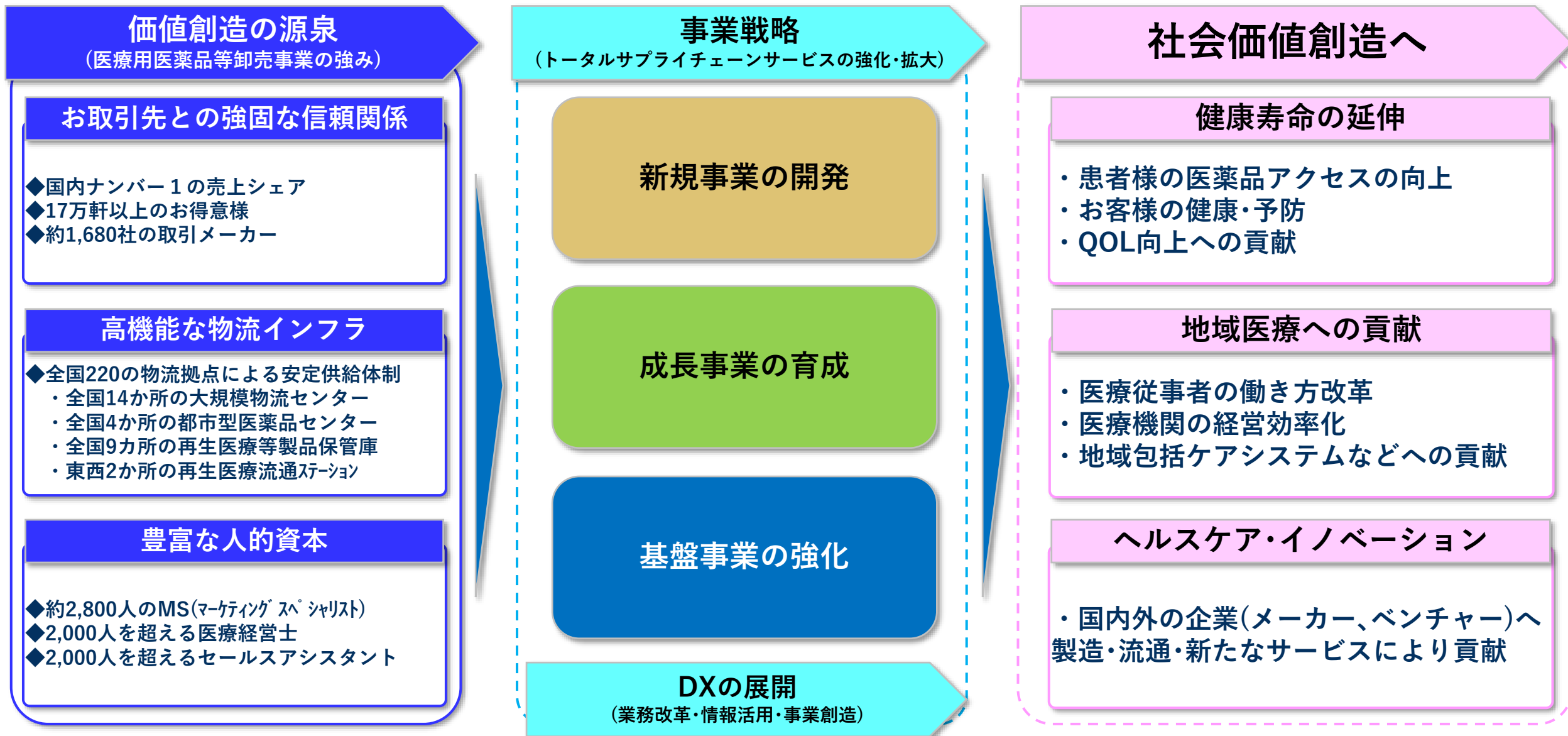
- ①『事業モデルの強化』と『新たな価値の創造』
- ②『グループ一体となった取り組み』による地域の健康・医療への貢献
- ③『環境保全への取り組み等』を通じたサステナブル社会への貢献
- ④『ダイバーシティ』を中心とした人財戦略の推進
- ⑤『コンプライアンスの遵守』を最重要とする企業風土の醸成

	2025年3月期	数値目標
売上高		2兆7,000億円
売上高営業利益率		1.5%以上
投資計画（累計）		1,200億円
株主還元		DOE2.4%以上

目指す目標の達成に向けたロードマップ

	22-24中期経営計画期間			中長期ビジョン
	2022年度 実績	2023年度 計画	2024年度 中期経営計画 (2022年5月発表時)	中長期(2032年度まで) に目指す目標
売上高	2兆6,960億円	2兆7,400億円	2兆7,000億円以上	4兆円
営業利益	301億円	320億円	405億円	700億円以上
営業利益率	1.1%	1.2%	1.5%	段階的な向上
ROE	5.4%	—	利益率向上・総資本回転率改善により、資本コストを上回るROEを目指す(年度毎に段階的な向上)	8%以上
自己資本比率	36.4%	—	—	30%台前半から半ばを目途
DOE	2.4%	2.8% 記念配当10円実施	2.4%以上 3年累計 総還元性向100%	段階的な向上
自己株式取得	—	350億円	—	機動的な実施の継続
総投資額	—	—	3年累計 1,200億円	25-32累計3,200億円

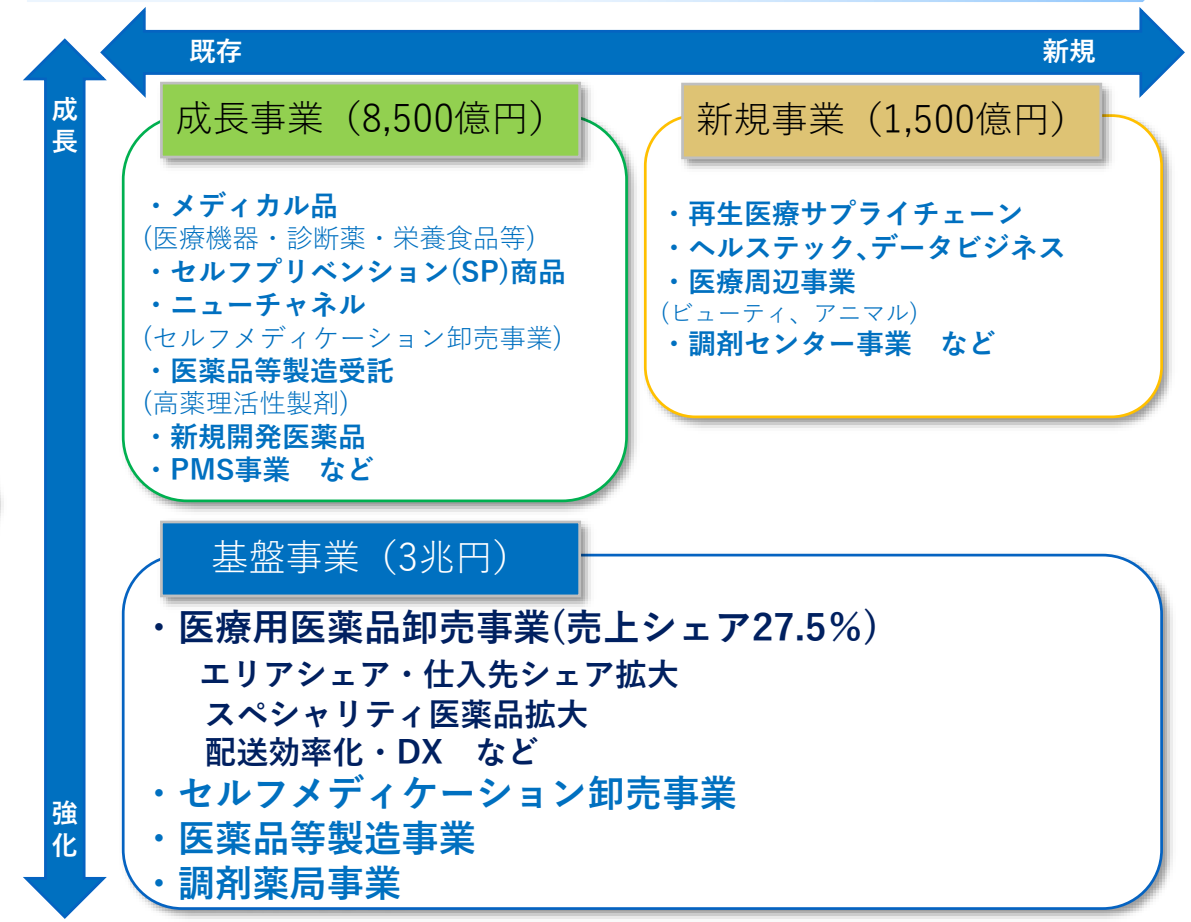
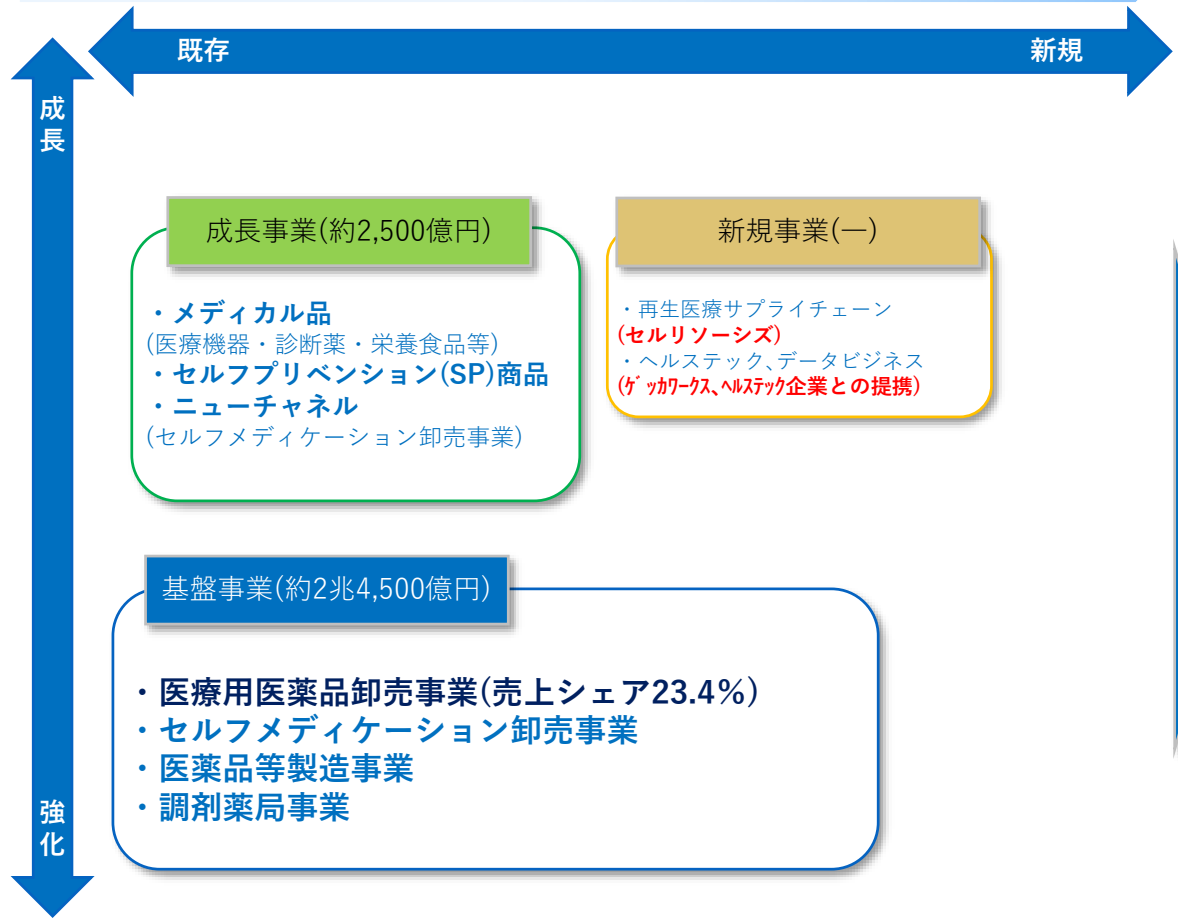
【事業戦略】 社会価値創造ストーリー



【事業戦略】 事業ポートフォリオ拡大・変革のイメージ (売上高)

22-24中期経営計画期間

アルフレッサグループ中長期ビジョン



2022年度 (実績値)

2032年度 (目標値)

売上高	2兆6,960億円
営業利益	301億円
ROE	5.4%

トータルサプライチェーンサービスの強化・拡大

4兆円
700億円以上
8%以上

【事業戦略】 中長期に目指す事業領域とシナジー

(トータルサプライチェーンサービスの強化・拡大)

患者様、お客様、お取引先等

成長事業

新規事業

基盤事業

メーカー等

- 国内外の研究開発型企业
- バイオベンチャー

医薬品等製造事業

- 新規開発医薬品
- 製造受託
- 高薬理活性製剤製造

医療用医薬品等卸売事業

- メディカル品
- スペシャリティ医薬品
- 再生医療サプライチェーンサービス
- PMS事業
- ヘルステック・データビジネス

セルフメディケーション卸売事業

- セルフソリューション(SP)商品
- データビジネス

病院・診療所・歯科等

調剤薬局

ビューティ

アニマル

医療関連事業

調剤センター

ドラッグストア・薬局等

ニューチャネル

患者様
お客様

【事業戦略】 22-24中計と中長期ビジョンにおける投資

今中計期間中は1,200億円規模の投資を計画
 更なる成長へ向け、「アルフレッサグループ中長期ビジョン」においては3,200億円の投資

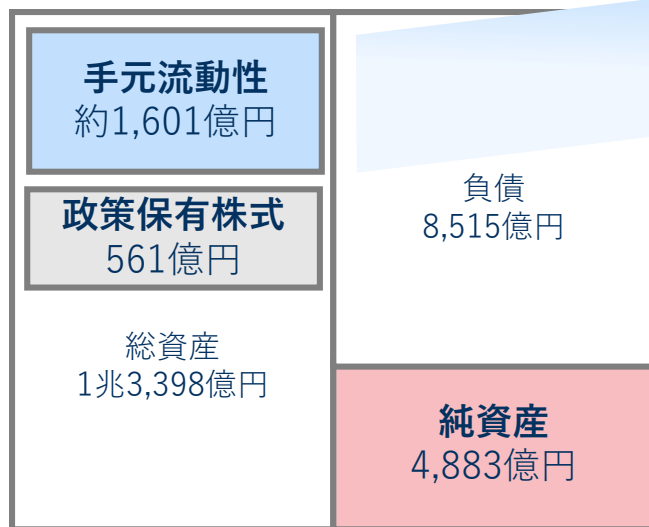
22-24中計の投資の進捗と計画、および中長期ビジョンにおける投資計画

22-24中計 投資計画				2025～2032年度計
22-24中計	3年累計	2022年度実績	2023～2024年度残	
事業継続投資 (設備投資)	700億円	238億円	462億円	300億円
M&A、新事業領域投資	400億円	51億円	349億円	2,500億円
システム投資 DX投資	100億円	23億円	77億円	400億円
合計	1,200億円	312億円	888億円	3,200億円

【財務・資本戦略】 中長期的に目指すB/Sイメージ（最適資本構成）

資本効率と安全性を両立した最適資本構成に向け、B/Sコントロールを実施

2022年度実績

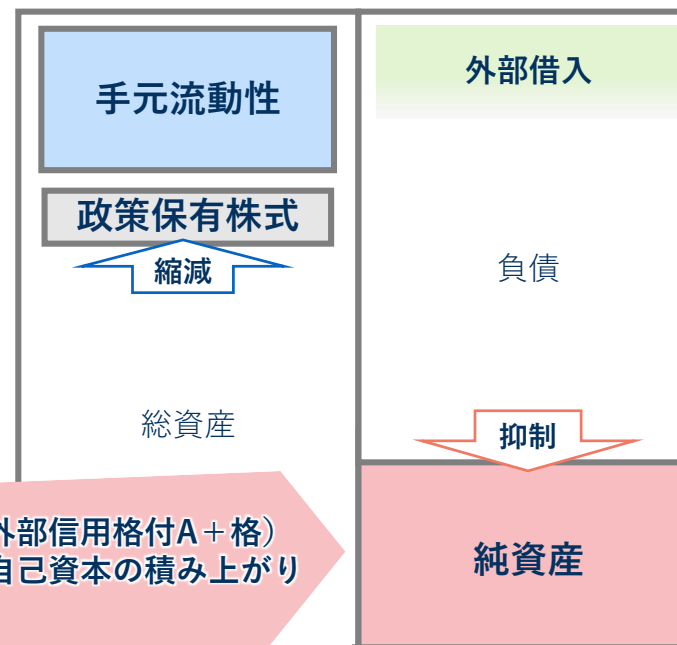


自己資本比率 36.4%
ROE 5.4%

• 手元流動性は現状水準を維持

• 財務健全性を維持しつつ（目安：外部信用格付A+格）自己株式取得を機動的に実施し、自己資本の積み上がりを抑制

目指すべきB/S像



自己資本比率 30%台前半から半ばを目途
ROE 8.0%以上

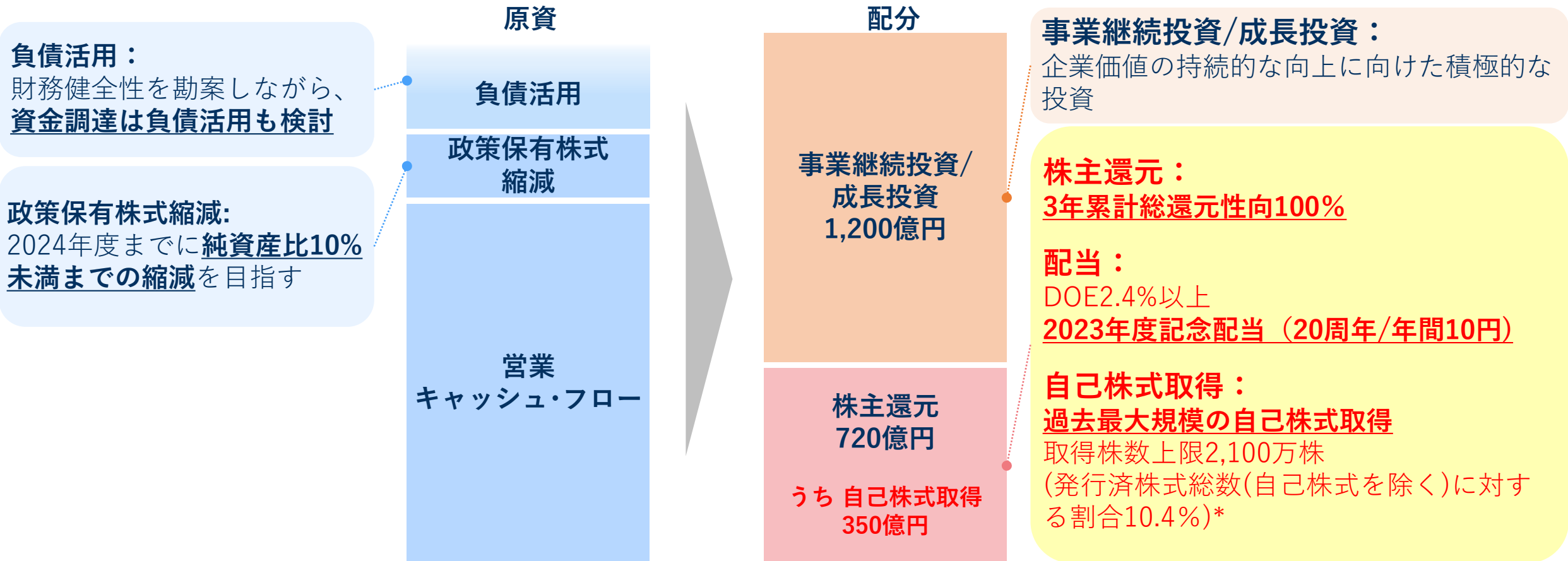
財務健全性を勘案しながら、資金調達は負債活用も検討

DOEの段階的な向上を目指すとともに、最適資本構成を見据え、自己株式取得を機動的に実施

【財務・資本戦略】 22-24中計キャッシュ・アロケーション

負債活用も検討しつつ、営業キャッシュフローと資産売却により、1,200億円の事業継続投資と成長投資、および3年累計総還元性向100%を計画

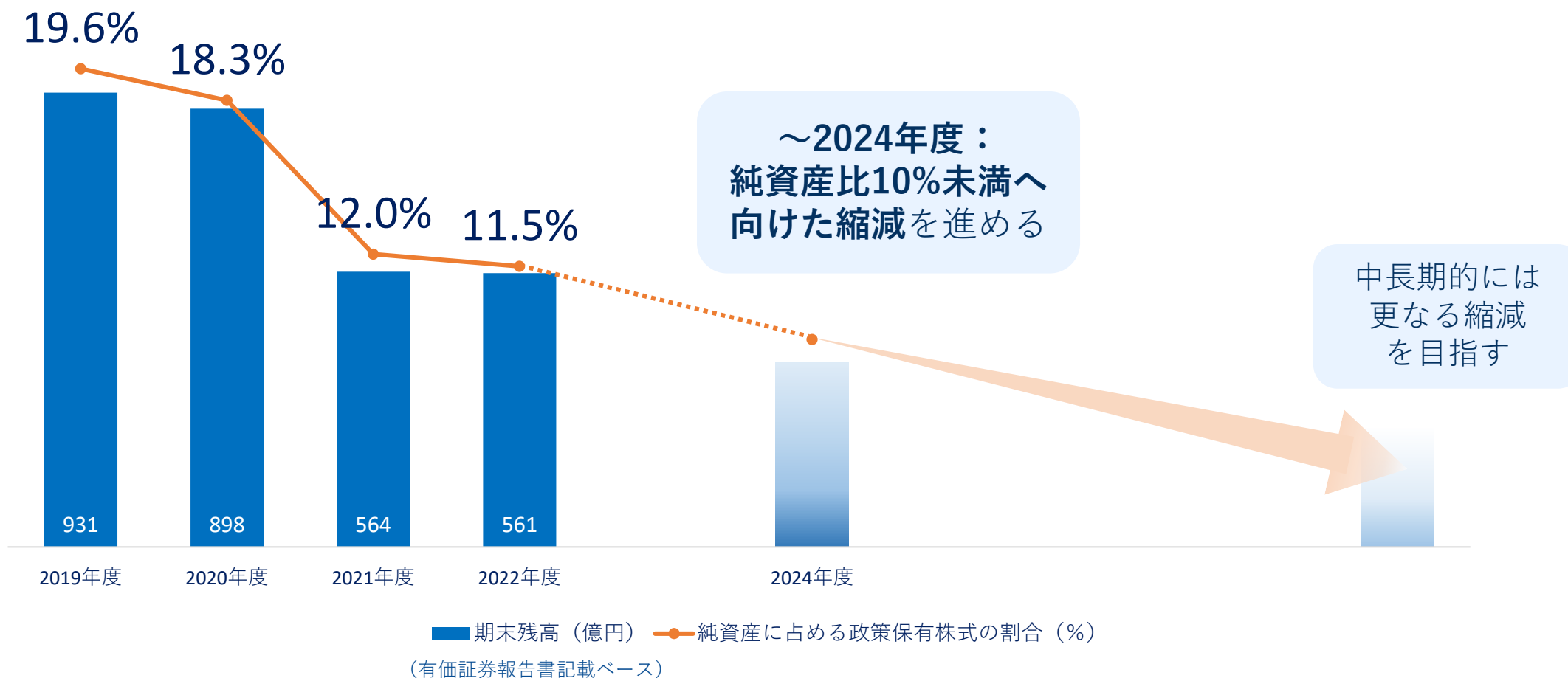
22-24中計：キャッシュ・アロケーション（イメージ）



*2023年5月15日『自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ』を開示していますのでご参照ください。

【財務・資本戦略】政策保有株式の縮減

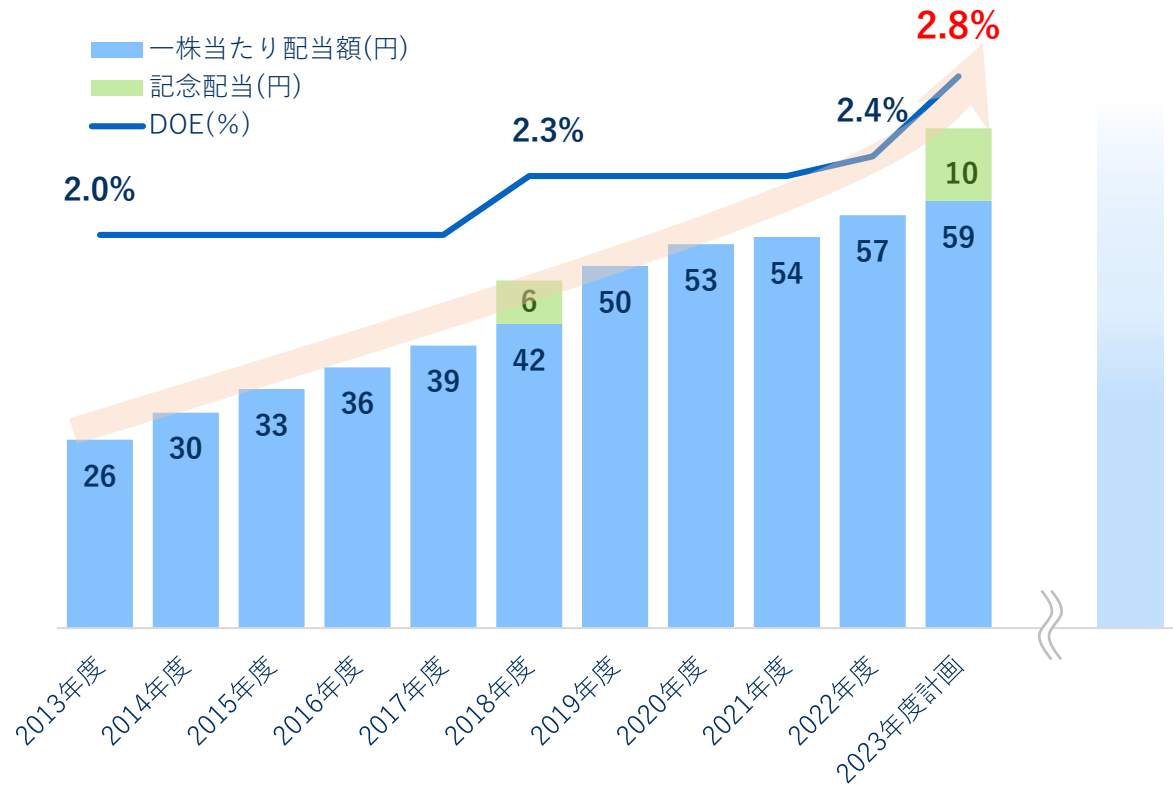
22 - 24中期経営計画期間に、純資産比10%未満を目標に縮減



【財務・資本戦略】株主還元強化

一株当たり配当額・DOE（実績・見通し）

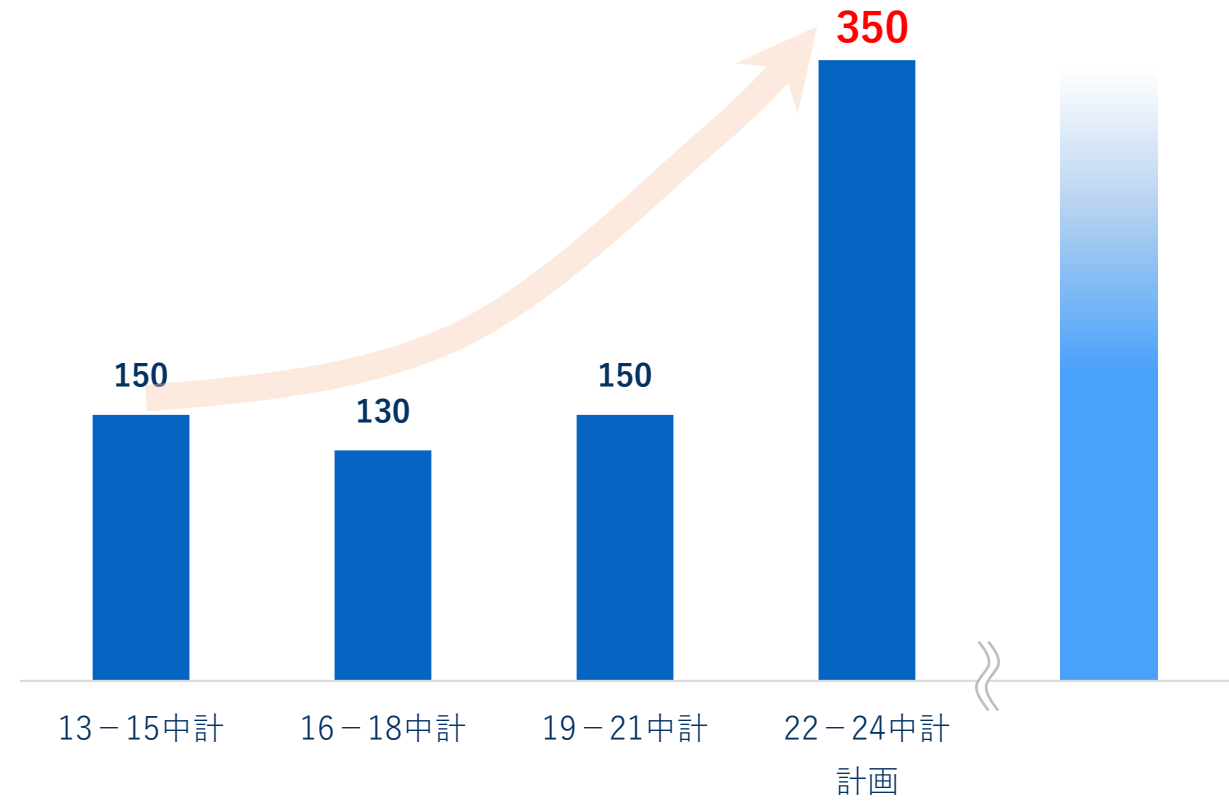
設立以来**19期連続増配**
 2023年度は**20周年記念配当（年間10円）**を実施



持続的・安定的な配当水準の向上を重視し
DOEを段階的に向上

自己株式取得金額（実績・見通し／億円）

2024年3月期に**過去最大350億円**の自己株式取得を実施



最適資本構成(自己資本比率:30%台前半から半ばを目途)
 を見据え**機動的に自己株式取得を実施**

alfresa